

# ケアポート板橋 東坂下事業所

平田 敏理・吉田 宗平

**功 績** 東坂下事業所では、地域の親子向けにパン教室を平成28年度から開始していましたが、更に一步進めた地域共生事業の第二弾として今年度7月から子供食堂を発足致しました。継続・定着化も進み、12月には定員20名を超え、地域から安心できる居場所作りを実現させた功績。

**推 薦 者** 宇津木 忠

**推 薦 理 由** 地域密着型事業の事業所として、地域住民と共に地域の問題は地域で解決するを実現できていること。

東京家政大学の学生とコラボし、地域ボランティアと共に共生社会が実現できていること。

社会福祉法人が地域貢献するモデルケースになり得る取り組みであり、理事長賞に値すると思い推薦させていただきます。

## 内 容

---

今回の取組みは、「東坂下地域には子ども食堂がなく、あったらいいのに」というパン教室に参加された母親の声から検討が始まりました。そこで平田と吉田が中心となり、区内で子ども食堂を運営されているところを探し、見学し、ノウハウを教えて頂きました。実習で関わりのある、東京家政大学の先生にも相談し、生徒にとっても勉強になるとの事で、協力もスムーズに繋がり7月から手探りでのスタートとなりました。

開始当初の頃は定員20名のところ、10名を下回る参加数でしたが、地域の野球チームや学校関連に声掛けを行い、また事業所の運営推進会議などを通して地域の方への周知や家族会での協力依頼を地道にしていく事で参加者が増えだしました。

地域の方も野菜を寄付してくださったり、その後も口コミが広がり11月の2回目から12月にかけて、ついに定員を超える20名以上が来所されるようになりました。

最近では、子どもたちに東坂下デイの「役割」のように少しずつお手伝いの仕掛けをしていくと、自主的に子供たちが役割分担を考え始め、調理、ウェイター、片付け、接客をこなしていく様はまさにティール組織の始まりを感じさせるものでした。

学生ボランティアも刺激を受けたのか、メニュー内容も季節感やオリジナルの物が増えたり、職員が行ってきた買い出しも自ら行ってくれるようになりました。

子供たちが輝ける場を設定する事でモチベーションにつながり、最初は2名の子供ボランティアが現在は総勢10名ほどに増えております。また働く母親から、「子ども食堂の日は残業になっても安心して迎えに来て嬉しいです」と、地域の安全な居場所としても役割があるのだと感じています。

また、他事業所のケアマネジャーや板橋区職員の方からも協力したいといった嬉しい声も上がってきました。

今回の取組みは、関わるすべての人の心を豊かにし、地域に輝きをもたらした好例と言えると思います。推薦いたします。